

令和6年3月21日

「女性研究者が活躍できる環境を四国に構築します

～四国内国立5大学による男女共同参画推進共同宣言～」について

世界から女性研究者が集い、地域を拠点としグローバルに活躍できる研究環境を四国に構築していくことを目的に、四国内国立5大学による男女共同参画推進共同宣言が四国国立大学協議会にて承認されました

このたび、平成23年2月22日に四国国立大学協議会において承認されました四国内国立5大学（徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学）による男女共同参画推進共同宣言を、現在の情勢を踏まえた内容に見直しを行い、新たに「女性研究者が活躍できる環境を四国に構築します～四国内国立5大学による男女共同参画推進共同宣言～」が令和6年3月5日に開催された同協議会にて承認されました。

同宣言は、より多数の女性研究者が意欲的に教育研究に取り組むことが各大学、ひいては四国地域の今後の発展に大きく寄与すると認識し、世界から女性研究者が集い、地域を拠点としグローバルに活躍できる研究環境を四国に構築していくことを目指すものです。

このため、四国内国立5大学は、各大学において女性が教育研究において一層活躍できる環境を重点的に整備するとともに、次世代を担う女性リーダーの育成に努力し、さらに、四国における大学、研究機関、地方自治体、企業、市民との連携を強めることにより、個人が個性と能力を発揮できる大学と社会の実現に貢献することを宣言します。

（香川大学 HP 掲載）

<https://www.kagawa-u.ac.jp/31394/>

（別添宣言文参照）

女性研究者が活躍できる環境を四国に構築します ～四国内国立5大学による男女共同参画推進共同宣言～

私たち四国に位置する国立5大学は、地域に根ざした大学として、特色ある世界水準の教育研究を推進するとともに、地域の発展の基盤となる人材の育成、文化芸術、産業、医療等の振興、充実への貢献に努めています。しかしながら急速な少子化が進み、特に都市部への人材の流出が増加している四国地域では、ジェンダーバイアスの問題を解消して女性や若者に魅力ある職場環境を整備し、雇用促進、人材定着に繋げることが、社会・経済活動等の維持・発展で不可欠となっています。

このような中、私たちは、女性研究者を支援し、積極的に活躍して頂くことは、多様な視点や発想を取り入れ、教育研究活動を活性化し、組織としての創造力を発揮する上で極めて重要であると考えております。より多数の女性研究者が意欲的に教育研究に取り組むことが各大学、ひいては四国地域の今後の発展に大きく寄与すると認識し、世界から女性研究者が集い、地域を拠点としグローバルに活躍できる研究環境を四国に構築していきます。

このため、私たちは、各大学において女性が教育研究において一層活躍できる環境を重点的に整備するとともに、次世代を担う女性リーダーの育成に努力し、さらに、四国における大学、研究機関、地方自治体、企業、市民との連携を強めることにより、個人が個性と能力を発揮できる大学と社会の実現に貢献することを宣言します。

〈私たちの重点的な取組〉

1. 大学運営における意思決定の過程に参画する女性の比率を上げること。
2. 女性研究者の数の拡大を目指し、教員公募において国内外からの女性研究者の応募を呼びかけ、環境を整備し、積極的に登用すること。
3. 女性研究者の優れた教育研究の取組を積極的に支援すること。
4. 大学の構成員のワーク・ライフ・バランスを確保するために、男女共同参画の視点に立って育児や介護の支援を充実させること。
5. 女性のキャリア形成および次世代を担う女性リーダーの育成にかかる取組を充実させること。
6. ダイバーシティ推進の視点に立った教育・研究環境および就業体制を確立し、大学をはじめとする関係機関のネットワークを構築すること。

令和6年3月5日

徳島大学長	河村 保彦
鳴門教育大学長	佐古 秀一
香川大学長	上田 夏生
愛媛大学長	仁科 弘重
高知大学長	櫻井 克年